

令和3年度 第2回 流山市地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会 議事録

1 日時

令和3年10月27日 水曜日

14時00分から15時30分まで

2 会場

流山市役所 第2庁舎3階 301・302会議室

3 出席者

(1) 委員

濱田 竜也 会長、君山 敬子 副会長、肥田 裕久 委員、鈴木美智子 委員、立石 八恵 委員、高村 友紀 委員、楠見 洋子 委員、櫻井 壽一 委員、岩井 謙詞 委員、池上 諄一 委員、紺野 好美 委員、塩谷 節子 委員、関谷 一和 委員、渡辺 恵 委員（全16名中14名出席）

(2) 事務局（市）

早川健康福祉部長

高齢者支援課 木村課長、君島課長補佐、武林高齢者介護予防係長、影山主任保健師、恩田保健師、石倉保健師

介護支援課 豊田健康福祉部次長兼介護支援課長、竹之内課長補佐、佐々木主任主事、鈴木主事、竹浪事務員

(3) 地域包括支援センター

北部地域包括支援センター 石川 渉センター長

北部西地域包括支援センター 高橋 和美センター長

中部地域包括支援センター 土谷 しのぶセンター長

東部地域包括支援センター 崎尾 直子センター長

南部地域包括支援センター 中尾 陽子センター長

4 議題等

(1)【協議事項】「新任委員紹介・副会長選出」について

(事務局より説明)

・8月に本協議会の副会長である宮本委員より人事異動のため委員交代の申し出があった。新任として、流山市地域リハビリ連絡会より渡辺委員が着任。

(渡辺委員)

ハートケア流山リハビリの理学療法士をしている渡辺と申します。先任の宮本は同じ地域の理学療法士をしており、リハビリ連絡会というところから私のほうで、引継ぎのほうをさせていただきたいと思う。リハビリ職であるため、地域の中での予防事業や北部地域の地域ケア会議などに参加させていただいている。よろしく申し上げます。

(事務局より説明)

・宮本委員の委員交代のため、新たに副会長を選出する。「流山市地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会の設置及び運営に関する要綱」の規定により、副会長は、会長が委員のうちから指名。

(濱田会長)

君山委員に副会長をお願いしたい。

(君山委員)

お受けさせていただく。

(君山副会長) 只今、副会長になりました流山市歯科医師会の君山敬子と申します。流山市江戸川台でさくら歯科をしており、もう20年になる。今後、高齢者が地域でも非常に増えていく中で意欲的にかかわらせていただけて、色々支援させていただければと思う。

(2)【報告事項】「流山市地域包括支援センターの職員の変更」について

(事務局より説明) 資料2のとおり。

・北部地域包括支援センターにて、7月26日付で社会福祉士が復職。

・南部地域包括支援センターで、6月30日付で保健師等が離任。

・南部地域包括支援センターで、10月1日付で社会福祉士が着任。

(委員) 意見なし

(3) 【協議事項】「令和2年度流山市地域包括支援センター事業評価」
について

ア (事務局より説明) 評価委員の皆様にご協力いただき、市民の方々に公表する(案)をまとめた。事業評価一覧に沿って、各センター長より説明する。

(各センター長より説明) 資料3-1のとおり。

イ 事前意見

(事務局)

櫻井委員より「日常業務を丁寧に努力されているのが確認できる。従事している職員の指導や心身の管理に更にご尽力されたい」との意見をいただいた。

地域包括支援センターでケースを抱えることのないよう、高齢者支援課に地区担当保健師を引き続き配置して、困難な事例等については協力しあいながら取り組んでいきたい。

ウ 評価委員より一言

(岩井委員)

当時は、各地域包括支援センターをいかに地域の高齢者の方に、認知されるかという段階で、皆さん努力されたと思う。最近では、地域包括支援センターが積極的に努力されていて、毎年評価する際に一步ずつ前進しているという点で、流山市全体の地域に地域包括支援センターは多大な貢献、努力されていると感じている。

(紺野委員)

去年に続いて今年もコロナ禍ということで、評価委員でどのように評価したほうがいいのかという話があった。例えば感染症対策のためケアマネジャーと会えない時はどうするのか、また、コロナ禍であってもケアマネジャーと会える場所があるか等を話し合った。評価するにあたり、それぞれの地域柄が去年辺りから出てきており、流山市をひとつの統一として考えるものではないのではないかということになり、その地域差によつての評価とした。

(塩谷委員)

民生委員をしている塩谷です。民生委員と包括は本当に密接な関係にある。私も、評価委員を何年かやらせていただいた。こち

らからもこうしたほうがいいでしょうねと注文を申し上げたりしたが、皆さんしっかりと対応してくださっているので、本当に安心している。何よりも私たちが包括に伺うとき、相談したいなど思うような包括さんでいてほしいと思う。

（高村委員）

ケアマネジャーをさせていただいている、高村と申します。今までは、ケアマネジャーとして包括と関わらせていただいて、私個人的には、どこの包括もいつも対応していただいて、心強い存在でもあり、本当に日々感謝している。今回、初めて評価委員ということで、今までとは見方を変えて対応していかなければと思う。よろしくお願いします。

（濱田会長）

評価委員を代表して、報告する。資料3-1の2ページの7と8について、地域包括支援センターの運営は、市内5か所概ね適切に行われており、コロナ禍でもよく努力している。北部西については、新設より2年で相談件数が増加し、周知活動の効果が表れているが、さらなる地域の状況把握や地区分析等に努め、より一層地域に根差した地域包括支援センターを目指していただきたいと評価した。

コロナ禍においても、チラシでの情報発信やリモート会議、少人数での開催など住民や関係機関とのつながりを絶やさない取り組みが評価できる。現状維持にとどまることなく新しい事に積極的に取り組み、地域包括支援センターとしてのさらなる成長に期待している。

地域の複雑化する課題に対し、市と地域包括支援センターは、一体性や緊密な連携を図りながら取り組んでいただきたい。

エ 令和3年度 評価スケジュールについて

（事務局より説明）令和3年度の評価スケジュールについて、資料3-2のとおり。

（4）【協議事項】「令和2年度指定介護予防支援等の一部委託の状況」について

（事務局より説明）

・令和3年8月請求時点における各地域包括支援センターの委託

状況は、資料４－２のとおりである。委託率は５０％から８０％の間であり、各地域包括支援センターにおける最多の委託先は、多くても委託件数のうち約２２％を占めているという状況。

・資料４－１の「Ⅱ保険者の考え」の３にあるとおり、これが８０％を超えると１事業所が占有しているという判断の目安としているが、１４％から２２％に収まっており、占有している状況はないと考える。

（委員）意見なし。

（５）【報告事項】令和２年度指定地域密着型サービス事業報告について
ア （事務局より説明）資料５－１と５－２のとおり。

イ 事前意見

（事務局）

事前に紺野委員からご質問のあった「優ったりサロン のどか」の稼働率等についてだが、同法人が運営する広域型の通所介護事業所である「デイサービスセンターほのぼの館はなみずき」と一体的に事業を実施している。そのため、職員等を兼務し、認知症対応型通所介護の利用者がいる時間帯に限り、基準を満たす対応を実施している状況である。

利用人数については、昨年度より、地域密着型サービスとしての稼働率を上げるため「サービスに関する周知」を行うよう、法人に対し継続して依頼しているが、新型コロナウイルス感染症の関係もあり、利用者増加に繋がっていない。今後も引き続き周知に努めるよう、働きかけるとともに、市としても当該サービスについてケアマネジャー等に向けて情報を発信していく。

（委員）意見なし。

４ その他

次回の第３回運営協議会は、令和４年３月２４日（木）午後２時から市役所第２庁舎３０１・３０２会議室にて開催予定。新型コロナウイルス感染症拡大状況によっては、ＺＯＯＭによるオンライン開催となる場合がある。